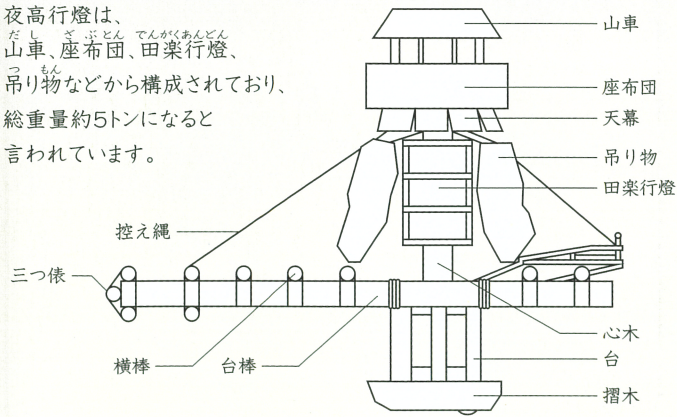


津沢夜高あんどん祭  
毎年6月第一金・土開催

高さ約7m、長さ約12mの武者絵の大行燈が激しくぶつかり合うことから「喧嘩夜高行燈」とも呼ばれる。相手側の山車や吊り物を壊す「ぶつかり合い」は迫力満点。



夜高行燈は、山車、座布団、田楽行燈、吊り物などから構成されており、総重量約5トンになると言われています。



山車・吊り物は細い竹ひごを用いて、龍、御所車、花籠、牡丹、蝶、鶴などの骨組みをつくり、その上に和紙を貼ります。そこに蠟引きを施し、赤・黄・紺などの鮮やかな食紅で彩色して仕上げます。完成までの約三ヶ月間、毎晩遅くまで、すべて手作業により夜高行燈がつくられます。



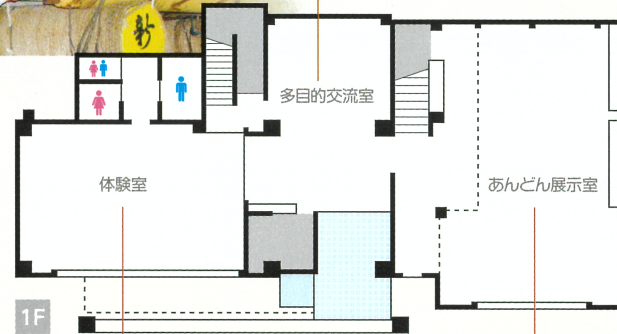
多目的交流室

津沢夜高あんどん祭の映像も鑑賞できるコミュニティスペースです。



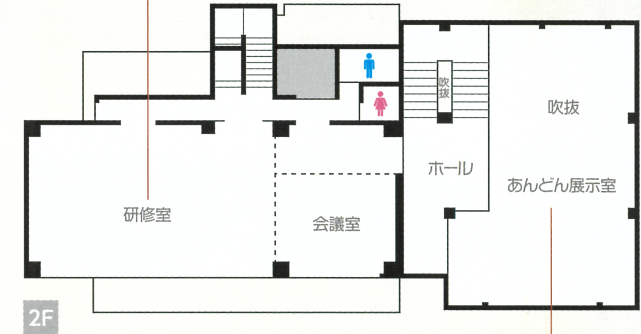
研修室

室内は広く、会議や講演会など、様々な用途に利用することができます。



体験室

あんどんの制作体験や太鼓の練習などが行われるスペースです。



あんどん展示室

吹き抜けのフロアには、実際に津沢夜高あんどん祭で使われている大行燈が展示されています。